

## 第1回審議会議事録

日時 平成19年10月30日 PM1:30～

場所 江戸崎庁舎 会議室

- 1 委員委嘱
- 2 市長あいさつ
- 4 会長・副会長の選出について
- 5 会長あいさつ
- 6 諮問
- 7 議 事
  - 1 自己紹介
  - 2 会議の運営等について
  - 3 提案書に基づいての意見交換
  - 4 その他
- 8 閉会

### 【出席者】

尾崎利生，宮本隆典，坂本源，河内喜和，柳町政広，富澤富生，木村忠男，木内義延，川口幸一，幸田勝夫，高木登代一，薄井教代，井川一幸，柳原一雄，横田孝裕，黒田功，鴻巣常次，以上17名出席

### 【欠席者】3名

事務局	<p>本日は、お忙しい中、御出席を頂きましてありがとうございます。</p> <p>只今より、第1回庁舎建設審議会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、最初の審議会でございますので、まだ、会長、副会長が選任されておりません。選任されるまでの間、事務局で進行役を努めさせていただきます。</p> <p>本日の日程であります。約1時間半を予定しております。</p> <p>まず、委嘱式をさせて頂き、その後、協議とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
	<p>【委嘱状交付】</p>

<p>市長あいさつ</p>	<p>本日は、公私ともに、お忙しい中をお集まり頂きまして、誠にありがとうございます。また、日頃より市勢発展のために、ご尽力を賜っておりますことに、この場をお借りいたしまして、改めて、厚くお礼を申し上げる次第でございます。</p> <p>ただ今、審議会委員を委嘱させて頂きましたが、新庁舎建設は合併時からの懸案事項でございました。この度の本審議会の発足は、本市にとりまして大きな前進であり、私といたしましても、たいへん喜ばしく思っているところでございます。</p> <p>現在までの2年半、4庁舎を使った分庁方式で行政の運営を行ってきたところですが、この間、様々な感想を持っております。特に、市政を司る者として、行政運営の非効率性については、少なからず感じるものがございます。行政は、日々、変化・進展していくものであり、的確な対応は不可欠なものでございます。調査・検討・指示という流れの中で、時として、緩慢に感じる場合がございます。これは、内部的なことではございますが、組織が分散している弊害は、こういったところにもあるのかな、と考えております。</p> <p>1例を申し上げましたが、新庁舎の必要性につきましては、新庁舎建設計画懇話会からご提言を頂いておりますが、私と認識を同じくするものであり、たいへん共感をいたしております。</p> <p>私といたしましても、施設の現状、経済性、市民サービス、合併特例債の優位性など、総合的に判断いたしまして、早期の建設が必要であると考えております。</p> <p>そのために、委員の皆様におかれましては、新庁舎建設の指針となる基本構想の策定にご尽力を賜ることになります。改めまして、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次に、会長、副会長の選任でございます。</p> <p>お手元にお配りしてあります、「稲敷市庁舎建設審議会条例」第4条にありますように「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。」としておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>選出につきまして、どなたか、ご意見があればお願いしたいと思います。が？</p>
<p>委員</p>	<p>懇話会があったので、継続してお願いしたほうがわかりやすいと思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>懇話会においては尾崎委員が座長、富澤委員が副座長でした。それでは、会長を尾崎委員、副会長を富沢委員ということによろしいですか？</p>

一同	拍手，了承。
事務局	会長に尾崎委員，副会長に富澤委員とさせていただきます。
	【諮問】

【議 事】

会長	初めての会議なので，それぞれの自己紹介から始めたい。
会長	会議の運営方法等について事務局より説明願いたい。
事務局	「会議における情報公開」「庁舎建設審議会審議内容（予定）」「今後の庁舎建設のスケジュール」「検討体制」を説明。
委員	庁舎検討委員会のメンバーは？
事務局	副市長，収入役，教育長，各部長，水道局長，教育部長，議会事務局長の構成となっている。
委員	審議会は4回あるが，時期は決まっているのか？
事務局	審議会の進捗状況にもよるが，第2回と第3回を11月，第4回は12月の開催予定。
会長	提言書に基づいての意見交換をお願いしたい。
事務局	提言書の内容を説明。
委員	新庁舎を建設しなかった場合の損失について説明してもらいたい。
事務局	年間約5億円の経済損失と推計している。現在総合窓口で職員が36人おり，新庁舎建設で窓口を縮小することにより窓口人数を削減し，人件費で2億4千万に相当する。ただしこの人件費は即削減するのではなく，中長期的に削減することになるが，新庁舎建設により削減可能という意味で損失に含んでいる。またネットワーク経費の削減額5百万，現庁舎の維持管理費（光熱費，修繕費等）の削減額2千8百万，庁舎間の移動経費として人件費を含む車両管理費1千6百万，現庁舎維持のための大規模改修（耐震改修）費が全体で20億円，1年当り1億2千8百万，合併特例債を借りなかった場合の損失が1億1千万。合計で約5億3千万円となる。
委員	合併特例債を活用した場合，そのうちの3割は支出経費となる。差し引きでの損失なのか，具体的な内容がわからない。
事務局	懇話会においても経済損失に合併特例債への交付税を入れるか検討したが，合併特例債が適用される期間の後に庁舎を建てると全て一般財源の持ち出しとなる。

委員	現庁舎の大規模改修費用20億円を計上した上、新庁舎の建設経費を見込んでいるのは二重計上になるのではないかと。建てないと損だというイメージが出来上がるのは良くない。慎重に資料を作成してほしい。
会長	事務局にて再検討願いたい。
委員	今後のスケジュールだが、位置・規模・予算について関心を持っている。そのあたりを重点的にスケジュールの配分をお願いしたい。資料の作製については、いくつかの候補や選択肢を示して、みなさんの意見が出やすい準備をお願いしたい。
会長	先ほどの説明でワーキンググループから、ある程度準備された資料が提出されると思うが？
事務局	庁内検討委員会からは、ある程度、具体的な形で提出する予定でいる。
委員	具体的な資料が提出されるのであれば、本会の存在意義がないように聞こえるが。
委員	審議会のスケジュールが早いので、資料の準備ができているのであれば、それで問題ないと思う。
委員	提言書に沿った資料を提出してもらい、その内容を話し合うべきだと思う。
事務局	用地選定については、ある程度、ワーキンググループで検討しており、提言書に沿った内容で資料を提出する予定でいる。いきなりどこにしますか？という内容ではなく、いくつかの候補を示しながら、それぞれの項目について検討内容を提示し、意見を聞く形となる。
委員	この審議会は新庁舎を建てることを前提に進めていくということで理解してよいか。
会長	そのように理解して頂きたい。これまでの議論は、建てることについては事務局から説明があったとおりだが、損失の考え方、数字の出し方について再考の余地がある、ということについて、ご指摘されていたのだと考える。
委員	尾崎先生を会長に推したのは、懇話会での審議を前提に、その流れの中で、年内には審議会の結論を出したい、ということをお願いしたつもりである。
会長	懇話会では新庁舎建設に慎重論もあったが、分散のままより、新庁舎を建設して、市民へのサービスを向上する方向でまとまっている。基本的理念は建設の方向に向いているので、建設に向けたよりよい意見を聞かせてもらいたい。

委員	<p>議会では、つくば市にも出向き情報収集を行っている。今の財政の中で可能なものを考えているが、提言書にはデザインやランドマークなど多くの意見がある。経費のかからず、現状に配慮し、稲敷市に見合った庁舎を考えるべきだと思う。</p>
委員	<p>懇話会において私は新庁舎建設に関して慎重派だったと思う。財政的な面、現庁舎の利活用の問題、庁舎の空洞化などを心配していたが、財政的には現在の公債費負担比率が8.6%で、将来的にも15%を超えず大丈夫だという説明があり、また行政サービスも向上するというので、新庁舎建設に賛成した。</p>
委員	<p>現在の稲敷市の人口が4万8300人くらいとして、将来的にはどんどん人口が減っていくのであれば、20年後を見据えて庁舎のスペースを考えなければならない。目に見えた形で資料を出してもらえると意見しやすい。これからはエコロジーについてよく考慮された庁舎が望ましいと考える。</p>
委員	<p>懇話会でも敷地の面積、工事費はこれくらいが妥当だと出されたが、あまりよくわからない。具体的に大きいのか小さいのかわからない。財政についてはなんとかなると思う。今建てた方が良いとの前提で考えた方がよい。懇話会で出なかったのは建物の位置だったかと思う。</p>
委員	<p>事務局では建設場所については検討しているのか？庁舎も場所によってどういう建物がいいか、という判断がつかないのでは？早く場所を決めないといけない。財政的には市の土地があるのならば、そこで良いと思う。市民にとって便利な場所がよい。商工会としては稲敷市は江戸崎が中心だと思っている。牛久よりの方が良いのか、千葉よりの方が良いのか、20年後はわからないが、学識経験者等の意見も聞きながら、場所はみんな決めてよい。</p>
会長	<p>第3回に候補地の選定が予定されているので、そこで改めて意見をいただきたい。</p>
委員	<p>建設位置を検討する前に、市の都市計画ではどのように考えているのかを示すべきだと思う。小学校についても適正配置を検討しているが、市の方針がはっきりしないと小学校の配置も検討できない。他町村との再合併も考えられる。都市計画の考え方に沿って新庁舎のあり方を考えるべきである。庁舎の存続期間によっては、免震の建物としたり、一部をローコストな建物とするなど、いろいろな考え方があ。また建設位置の周囲についても、将来、他の施設を建設できるような場所も検討すべきである。稲敷市の方向性を見据えて、考えるべきだと思う。</p>

委員	第2回に建設位置の話はできないか？私個人としては新庁舎の廻りに新しい都市ができてよいかと考えている。次回審議会の資料については事前に配布してもらえるのか。
事務局	事前に資料を用意したい。
委員	防災の拠点，統廃合についても方針を考えないといけない。複合施設とするのか，審議会で方向性を見出したい。
委員	都市計画に則って建設位置を決めるべきだと思う。新庁舎の総合計画をする会社等は決まっているのか？審議会の中でその選び方を決めてもいいのでは。
事務局	審議会において発注方法までは検討内容には入っていない。
委員	稲敷市の都市計画策定においては，都市計画の専門家に意見を聞いたか？
委員	稲敷市の総合計画では10年後には人口が減り，小学校の統廃合もあるとしている。どの辺に建設するのがよいかを考える上で，稲敷市総合計画をまず説明してもらいたい。職員数は一般的に人口1000人当り4.5人とあるが，稲敷市は1000人当り6.5人と多い。人口が減る方向で，現段階の基準で建てるのであれば，将来的には借金しか残らない。合併特例債は10年という期限があるため，建設については積極的に考えるのがよいと思うが，稲敷を今後どうするのか，人口を増やすにはどうするのか，その中で庁舎建設について検討したいと考える。
事務局	次回開催は11月12日(月)もしくは11月13日(火)とし，後日連絡する。
【閉会】	

## 第2回審議会議事録

日時 平成19年11月12日 PM1:30~

場所 江戸崎庁舎 会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - (1) 新庁舎建設の基本的要件
    - ・新庁舎の必要性
    - ・これからの行政サービス
    - ・求められる新庁舎の役割
  - (2) 新庁舎の規模
  - (3) 新庁舎位置の考え方
- 4 その他
- 5 閉会

### 【出席者】

尾崎利生，河内喜和，埜口正雄，柳町政広，富澤富生，木村忠男，木内義延，仲川恒一，川口幸一，幸田勝夫，高木登代一，薄井教代，井川一幸，加納昭，柳原一雄，横田孝裕，黒田功，鴻巣常次，以上18名出席

【欠席者】2名

### 【議事録】

会長	新庁舎建設の基本的要件について，事務局から説明願いたい。
事務局	配布資料について説明。
会長	基本的要件なので異論は無いと思われるが，特に質問はないか。
委員	資料の方はしっかり書いてあるので，特に質問はない。
会長	次に，新庁舎の規模について，事務局から説明願いたい。
事務局	配布資料について説明。
委員	職員人数が平成27年で312人とあるが，平成19年からの人口は，3,000人の減となっている一方，職員は15人しか減っていない。人口との関係はどうなっているのか？
事務局	行政改革プランというものがあり，それに基づいた数値としている。勸奨退職者を含めての数値なので，前倒している要素がある。稲敷市の職員は合併時には525人いるが，平成19年は483人である。庁内職員数には幼稚園や公民館などの職員は含めていない。

委員	人口に対して312人というのは国の基準から考えて適正なのか？
事務局	職員数については町村レベルでは人口100人に1人，市レベルではそれよりも少ない数字となる。現在，稲敷市では人口1000人当り6.1人で，県内では17番目であり，312人というのは適正な数値であると考えている。
委員	稲敷市の人口についてだが，平成27年で約4万5千人とあるが，現在から比べて人口減となる。行政として人口を増やすことの計画は無いのか？
事務局	総合計画では平成28年で約4万6千人を想定し，将来的な目標人口を5万人としているが，大きな数字よりも小さい数字を算定の根拠とする方向で規模を算出している。
会長	市内の初等教育を見ても人口増に関してはかなり厳しいものがある。
委員	つくば辺りは大規模な住宅地をつくったりして人口が増えている。
委員	新庁舎を作るのは，新しい町をつくることにもなる。まちづくりを前提に考えると新庁舎の周りに住宅地などを考えないと庁舎だけがぽつんと建つことになる。都市計画との関係を十分考える必要がある。
会長	前回の回答では「市の総合計画による」とあったが？
委員	庁舎は出来ても周りが市街化調整区域のままではどうしようもない。
事務局	前回，都市計画との整合性について質問が出たが，現在，合併後の都市計画マスタープランは策定されていない。都市計画については平成18年度に基礎調査，平成19年度に基本方針の策定，平成20，21年度にマスタープラン策定の流れとなっている。旧町村のバラバラのマスタープランはある。新庁舎を核としたマスタープランを策定する必要があると考える。現在はそのような状況にある。インターチェンジやアクセス道路の整備も進むので，それに合わせてマスタープランも変わると考えている。
会長	稲敷市のマスタープランについては，新庁舎の建設がひとつのけん引力として考える，ということでしょうか。
委員	この人口を前提に割り出した規模については，個人的にはこれで良いと考える。

委員	稲敷市には新しいまちづくりが必要になる。新庁舎を既存市街に作っても発展は難しい。新庁舎の周りが調整区域であれば、千人、2千人といった新しい町をつくるのは難しい。新庁舎を核とした都市計画について、県への働きかけはどのようになっているのか。
事務局	11月8日に稲敷市都市計画検討委員会を立ち上げ、今後の方向をワーキンググループで検討している。線引きをするか、またはそのままとするか等の方向性を検討している。また、地区計画というものを利用して都市計画を進めることも検討課題としており、その内容については逐一、報告したいと考えている。
委員	市街化しようとしてもできない、ということではまずい。現在でも町を広げられない、という事実もある。
委員	大都会では住宅をつくれれば人が来るが、田んぼの真ん中に住宅を作っても引越してきてくるとはしないのでは？
委員	庁舎だけでなく、まちをつくるということで、本会に参加しているつもりである。現に住んでいる人にとって魅力的なまちづくりを話し合いたい。
委員	定住人口だけでなく、交流人口も考えたい。稲敷市を訪れる人は約2万人いる。これからは交流人口を、如何に増やすかが大事である。
会長	新庁舎の規模そのものに対する意見はないか？
委員	庁舎規模を算定する方法として、総務省基準と国土交通省基準、他団体のデータに基づく方法、どれが一番条件が良いのかわからない。今回の新庁舎は合併特例債についてこの数値に合わせないといけないのか？
事務局	これは、あくまでも基準であり、概算の規模を割り出す目安として用いている。これによって制限がかかるものではなく、これを基に基本計画段階などで必要な部屋の積み上げを行う。
委員	職員1人当たり25㎡だとか29㎡といってもイメージがわからない。具体的に旧4町村ではどうだったか、というデータはあるのか？
事務局	合併後の各庁舎の職員数の資料しかないため、次回資料とさせていただきます。
委員	例えば、茨城県庁は職員1人当たり何㎡なのか？
事務局	調査する。

委員	新庁舎の規模についてだが、規模は人口と職員の推定人数によって変わる。希望的観測で作ると、後になって変更もできないし、設備的な部分等無駄になる場合がある。いろんな面で考えないと規模は決定できない。厳しいくらいで設定した方がよい。
事務局	総合計画での人口の設定は4万6千人という数字に至ったが、その経緯の中では算定方法により最高と最低で2千人の開きがあった。人口設定については現在より少ない人数でよいのか、という指摘もあったが、これからの政策誘導によって人口増を目指す必要がある。人口の想定は難しいものがあり、職員数についても10年後はつかみにくい。そのため施設の計画にあたっては、様々な変化に柔軟に対応できる庁舎とすることが大切だと考えている。
委員	人口想定が難しいが、設定を厳しくしておいたら無駄が出ない。
会長	資料で示されている数値は平均値よりも抑えた数値だと思うが、今の発言はよりひかえめにした方がいいのでは、ということだと思うので、数字としては資料の通りでよいかと考える。
事務局	4万5千人という算定根拠は、政策人口よりも割り落とした数値としている。
会長	新庁舎の規模を算定する上での想定人口は配布資料でよいと考えるが、市の実質の人口としては、将来的にもこの人口を維持できるよう考える必要がある。新庁舎の規模については、以上のようにこの数字で考えることでいかがか。
委員	現庁舎の庁舎面積について、それぞれの庁舎職員人数がかなり違う。実際に訪れてみて、広く感じる場所や狭く感じる場所もある。原因はよくわからない。面積についてはこちらでこうしようと言えない部分でもある。庁舎でのまちづくりまで考えると、今回の審議会では議論しつくすことはできないと考える。別の懇話会なり、審議会で検討することとして、ここではどの場所に、どのくらいの大きさで建てるのかを議論すればよいと考える。
会長	都市計画についてはその方向で考えればよいと思う。
会長	既存庁舎の概要は合併後の職員数を表しているのか？
事務局	合併後としている。

会長	例えば、江戸崎では合併前と後ではどう違うか？
事務局	合併前は議会なども設置されており、全体で100人くらいはいた。
会長	職員1人当たりの面積で、窮屈なのかは、会議室や休憩室などの面積も含めてのことなので、それだけでは感覚がわからない。また周囲に建っている関連施設やプレハブ等は面積に含めているのか？
事務局	含めていない。
会長	次に、新庁舎の建設位置の考え方について、事務局から説明願いたい。
事務局	配布資料について説明。
委員	配布資料の地図は、できれば大きくしてもらいたい。
事務局	準備したい。
委員	次回についての要望だが、具体的な位置を検討するのであれば、都市計画に関して、新庁舎を市街化調整区域に建てる場合、周囲の市街化は可能なのか、その点について確認をしておいてもらいたい。
委員	加えて、市有地、公有地がどれくらいの規模で、どこにあるのか、という資料を用意してもらいたい。
事務局	準備したい。
事務局	次回開催は11月26日(月)、江戸崎庁舎、午後1時30分とする。
【閉会】	

### 第3回審議会議事録

日時 平成19年11月26日 PM1:30~

場所 江戸崎庁舎 会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事  
(1) 新庁舎の建設位置について
- 4 その他
- 5 閉会

#### 【出席者】

尾崎利生，宮本隆典，坂本源，河内喜和，埜口正雄，柳町政広，富澤富生，木村忠男，木内義延，幸田勝夫，薄井教代，井川一幸，加納昭，柳原一雄，横田孝裕，鴻巣常次，以上16名出席

【欠席者】4名

#### 【議事録】

会長	新庁舎の建設位置について，事務局から説明願いたい。
事務局	配布資料について説明。
会長	人口重心，地理的中心はやや評価が低い。
委員	西高跡地で，用地取得費が1億8千万円とあるが，これで内容を進めた場合，数字はこれで落ち着くのか？
事務局	県からの払い下げの場合，市の公共用地として活用するのであれば基本的に50%の減免措置がある。
委員	西高跡地は西高を作るときに県に寄付したと思う。返してもらえないのか？
事務局	県と何度も打合せをしている。寄付した経緯も含めて協議している。昭和40年代に地元の強い要請で江戸崎町が土地を提供して県が建設した経緯があるが，難しい状況にある。市の方で土地利用の具体案が出れば試算できるが，今はできないという回答である。江戸崎の評価額を参考にすると1億8千万円程度と見込まれる。
委員	他に比べると安いのだが，実際にこの場所で計画がスタートしたときに，全体の3億7千万円が7億7千万円になるとか，そういうことにはならないと考えてよいのか？
事務局	さらに，県有地の払い下げは，合併の優遇措置である県の新市町村づくり支援事業の対象となり，これが活用できると考えている。
委員	柏木付近の意図は？他にも土地はあると思うが，ここなのはなぜか。

事務局	稲敷市には道路マスタープランというものがあり、柏木交差点から高田へ抜ける構想道路がある。幹線道路である125号線や広域農道、また、圏央道に接続する場所を考えている。他にも高台、運動場などあるが、運動場を潰すのはどうかという議論もある。用地選定には道路マスタープランも合わせて考えている。
委員	運動場は芝生が生えていて実際は運動場にはなっていない。今、桜川は土木工事も何もない。私は運動場を推薦したい。
委員	候補地の比較検討で参考資料だと思うが、どこに建てるべきか一目瞭然だと思う。問題は金額のかからない方がいいのか、場所の良い方がいいのかということだと思う。この良く出来た資料の中から選べば良いのではないか。金額が一番大事だと思う。若者や孫にあまり借金を残さない方がいい。
委員	一般市民の意見としては金額が大事だと思う。資料で西高を見たときここが一番良いと思った。いかに予算を効率よく使えるか。西高卒業生も多いし、みんなが知っているのでネームバリューもある。わかりやすい場所である。
委員	今後10年、稲敷市に大きなプロジェクトは無いと思う。西高跡地であれば、周辺地域の発展性も良い。新庁舎による発展の起爆剤にもなると思う。周辺地域の発展性を加味しても優位にあると思う。
委員	以前、東町はなんであんな場所に中学校を作ったのか？という話があった。今回の候補地は西側に寄っているが、予算的に2億や4億の違いであれば少し中心に寄らせたい。住民が納得できる場所にしてほしい。
会長	たしかに、ハズレになると思う。市は広域であり、場所を選ぶとなると様々なことを加味して考えなければならない。これを契機に都市計画も考えていくことになると思う。この候補地の中で見ると総合的には西高跡地になるかと思うが、ご意見としてはあると思う。
委員	西高跡地ということで決まっているわけではないと思うが。
会長	客観的に見てそう思う。
委員	若い人が見てがっかりするような場所は良くない。
委員	候補地として～まであるが、中に民有地がある。民有地を買ってから建てるとなると時間もかかる。地権者が1人の所有であれば簡単にいくかもしれないが、複数いるとさらに時間がかかる。素人としては市有地から選ぶのが妥当だと思う。市有地であるの中で考えると、道路整備や土地取得の観点から西高が一番良いと思う。アクセスも容易。みんなも

	知っている。ただ、ここが稲敷市の中心かと言うとかなりはずれている。他の候補地を見るとアクセス道路を作らないといけなくて、何年かかるかわからない。西高はベストではないが、ベターだと思う。
会長	理念としてベストというのは難しい。ベターを選ばざるを得ない。
委員	防災拠点ということも考えないといけない。そのこと1つとっても西高跡地は第一候補になると思う。欠点は中心からずれているということ。東地区から考えると遠く離れている。それ以外を考えると一番良い。いろんな条件を考えても西高跡地が第一候補になると思う。
委員	金額的な負担を考えると一番抑えたものにしてほしい。それを考えると西高のところが良い。道路が整備されていて、周りの開発を考えても西高が良い。ただ、どれくらいの開発ができるのかわからないので、今の段階でわかる内容を提示してほしい。
事務局	現時点では市街化調整区域であり、開発を抑制する地域である。ただし、コンビニや飲食店等の都市計画法第34条1号に該当する店舗は立地できる。西高跡地と言えば、東西軸の道路は整備されている。南北軸の整備は必要になると考えられる。地区計画を導入すれば、道路沿いの開発は可能かと考える。
委員	現在、西高の校舎があるが、解体費用は市で持つのか？普通は更地での売却ではないのか。
事務局	市の方で場所を決めないと県の方でも金額で出ないのが現状である。解体についても同様である。
委員	西高の裏側は造成が必要では？
事務局	配置計画では段差を利用した形で考えることになる。
会長	ベターな案として 江戸崎西高跡地を推薦する。
一同	異議なし。
事務局	次回の審議会は「現庁舎の利活用について」。開催日時については後日、調整後通知する。
【閉会】	

## 第4回審議会議事録

日時 平成19年12月18日 PM1:30~

場所 江戸崎公民館 研修室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事  
    (1) 窓口について  
    (2) 現庁舎の利活用について
- 4 その他
- 5 閉会

### 【出席者】

尾崎利生，宮本隆典，坂本源，河内喜和，埜口正雄，柳町政広，富澤富生，木村忠男，木内義延，仲川恒一，川口幸一，幸田勝夫，薄井教代，井川一幸，加納昭，横田孝裕，黒田功，鴻巣常次，以上18名出席

【欠席者】2名

### 【議事録】

会長	新庁舎の建設位置について，事務局から説明願いたい。
事務局	配布資料について説明。
委員	私はここまで車で40分かかる。新庁舎までも同じくらいかかるとなる。分庁舎形式で東庁舎を残してほしい。少しでも地域の公平性を保ってほしい。
会長	今回資料では新庁舎エリアと支所エリアとなっている。分庁舎とは少し違う。
委員	分庁舎は無くてもよい。支所としての機能があればよい。
委員	今の庁舎は使わずに他の公共施設を使うことは実際に可能なのか？
事務局	東地区は生涯学習センターがあるので可能である。
委員	少なくとも東地区窓口業務だけでも残す必要は十分にある。東からここまで22kmくらいはある。
委員	東の生涯学習センターは交通の便が悪い。市の高齢化を考えると現東庁舎を利用した方がよい。郵便局を利用することについては，民営化したことでいつ廃止になるかわからない状況であり難しい。
委員	支所を残すとしても売却は反対。市で有効活用してもらいたい。売却費用はおそらく二束三文となる。実際は土地価格の100分の1くらいだと思う。解体するのも費用がかかる。

委員	行政サービスの基本概念として、市民が窓口に行くことが前提としているが、行政サービスが出向くことも考えた方がよい。高齢者や弱者に対しては行政が待っているだけでなく、積極的に出向くサービスがあってもよい。
事務局	事例としては以前に見たことがある。しかし、今の段階では新庁舎を建てる時点では出張サービスは考えていない。今後は高齢化社会となり、人口も10年後には65歳以上が30%を占めることになる。必要性が高まった時に検討することとなる。
委員	現実的には東分庁舎を残して、老朽化したものを集約する。他の公共施設で老朽化を把握しているものはあるのか？
委員	個別には調査していない。
委員	建設年でおおまかに把握できるのでは？
事務局	集約という方法については桜川庁舎になると思う。公民館や保健センターを集約できる。東庁舎については複合施設が想定される。
委員	24時間、市民を待っていることが良いのかは疑問が残る。受付だけして後で郵送することもできる。自動交付機は役場の横に置いても意味がない。ショッピングセンターなど人がいるところが良い。あまり、既成のサービスにこだわりすぎると成り立たなくなる。
委員	自動交付機に関して選択の自由はあると思う。若者は自動交付機でもよい。私たち年寄りには窓口に行く方が利用しやすい。利活用の提案として、子供達のフリースクール等の活用で庁舎を利用してできれば良いと思う。各種届出等で役場を使うことはあるので、東庁舎などに市で有効に使えるスペースを持っていてくれれば良いと思う。
委員	窓口業務を分庁舎で残すのは不経済だと思う。窓口業務は他の施設で行い、売却を前提にした方がよい。ただし、売却するとして現実に買い手があるかはわからない。売却が無理な場合、貸すとしても借り手があるのかもわからない。数年残しておいて、買う、借りるということが無ければ解体する。
会長	現実的には数年残した方がよい。今は4庁舎は解体する方針だが分庁舎は残すことになっている。
委員	窓口業務は小スペースでできる。大きいスペースは必要ない。
委員	新庁舎を建てる西高跡地は市でもかなり西の方である。西の方となると、東側にとっては香取市役所の方が近い。可能であれば、広域的な利用も考えられないか。
委員	窓口業務について懇話会でこのくらいは可能ではないかという程度は話したと思う。今はどの程度を考えているのか？

事務局	戸籍の謄抄本，住民票，諸証明書等，今の総合窓口と同等のものができると思う。窓口で完結する事務。受付して本課へ送り窓口へ戻して交付。また，受付だけして本課で交付するもの等の業務ができると思う。
委員	配置する人数は？
委員	合併時の総合窓口と同様に，当初人員をはりつけた後に利用状況等をみながら，適正な人員に戻すことになる。最初は少し増えるかもしれないが，それでも今よりも少なくなる。
委員	前よりも増えたら逆行する。
委員	窓口業務については1ヵ所残すことで大体まとまったと思う。新庁舎があるとしたら旧庁舎は不要であるから売却する。必要であれば借り上げる。持っていることは管理などで経費がかかる。複合施設という考えも所有でなくともできるのだから，セール・アンド・リースバックという方式がよいと考える。
会長	フリースクール等は民間がやること。市で持っていなければいけないというわけではない。活用方法としてはそういうことも考えられる。
委員	用途係数は強度のことでよいか？1.5倍とか1.2倍とか。
事務局	強度である。
委員	1.0倍が通常の建物であれば，改装をして住宅などに転用する方法もある。
委員	利活用について，なかなか結論は出ないと思う。
委員	旧新利根の庁舎跡地は個人の住宅が建っている。今までの60年間で跡地に何が出来ているかという住宅が建っている。更地にして，個人の住宅として分譲することが考えられる。もったいないからどう使おうかでは先に進まない。何も変わらない。
委員	今もこの先も利活用については良い方法は出ないと思う。一番良いのは民間に買い取ってもらうのが良いが，買ってくれる民間があるかわからない。少し様子を見ながらいずれ解体する。建物としては学校，特に小学校の耐震補強の済んだものが空きとして増えてくるから，その利用を考えていかなければいけない。
委員	新庁舎建設まではまだ時間がある。いろいろと話したり，決める内容もある。時期を見ている議論するとして，今ここで決めなくてもよい。
会長	今回はモデルケースとして，それで良いと思う。
委員	個人的な考えとしては，解体した方がよいと思う。東など分庁舎を残しても建物のバランスが悪い。あれは現庁舎に付け足した建物。売却についても稲敷は農業地だから，企業もなかなか来ないのではないかと。土地利用は時間をかけて考えればよいと思う。

委員	これは理想論でもあるが、工場やショッピングセンターを誘致して、若者の足を止めるためにアパートなど建てられれば良いと思う。
委員	新利根は新興住宅地だから安く貸したりして採算の取れる方法で人口を増やすことを考えた方がよい。
委員	人口減少は一部の人だけでなく、全員で考えていかなければならない。
委員	私たちは潮来から高速バスに乗ったりする。東庁舎の跡地に高速バスが止まれば良いと思う。今は素通りの状態。若い人も自宅から通学や通勤できることになる。
委員	利活用で何が良いかは、浮かばないのが正直なところ。耐震的にも厳しいのであれば壊すのがベターだと思う。残すとしても東分庁舎くらいしかないと思う。市として費用がかからないことを考えるとそういうことになる。
会長	図書館、生涯学習センターなどいろいろあるが、これが欲しいというものを見つけるのは大変なことだと思う。
委員	桜川の分庁舎は敷地内で端の方に移動させることは可能か？分庁舎は敷地の中央に建っている。敷地の利活用が難しいと思う。
委員	行政サービスが市民に公平にできるかについては庁内で考えてほしい。来るのを待つのではなく出張してやってほしい。今までの業務と違い、改善して、職員が出向いて「月日まで東でやりますから来てください」などしてほしい。今後はIT化社会になるのだから、それも見越して改善を検討してほしい。今回資料には業務の改善は触れられていない。必要なところは残して、売れるところは売って、住宅団地など作るとよいと思う。
会長	行政サービスについては役所だけでなく、他の部分も見直しというか検討が必要になると思う。
委員	東地区にある県営住宅が非常に人気だと聞いている。
事務局	市営住宅は一杯、県営住宅も同様。市営住宅は評判が非常に良い。
委員	公共サービスについて、何でもやるという考えは変えなければと思う。民間ができないこと、その最低限を公共がやる。何でもでは財政的に難しい。
会長	活力ある民間が稲敷にあればできると思う。民間が来てくれなければ、公がやらざるを得ない。
事務局	次回は今までの内容をまとめて基本構想（案）として、その内容について審議する。時期は来年1月となるが詳細については後日通知する。
【閉会】	

## 第5回審議会議事録

日時 平成20年1月28日 PM1:30~

場所 江戸崎庁舎 会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事  
    (1)基本構想(案)のまとめ
- 4 その他
- 5 閉 会

### 【出席者】

尾崎利生，宮本隆典，坂本源，河内喜和，埜口正雄，柳町政広，富澤富生，木村忠男，仲川恒一，川口幸一，幸田勝夫，高木登代一，薄井教代，井川一幸，加納昭，柳原一雄，横田孝裕，黒田功，鴻巣常次，以上19名出席

【欠席者】1名

### 【議事録】

会長	第4回までに審議した内容についてご質問ご意見をいただきたい。
委員	非常に良くまとめられていると思う。前4回の内容も網羅されていると感じる。
会長	「将来の職員数」について、平成19年現在326人が平成27年では312人となる表現では、あまり職員が減っていないように感じてしまう。
事務局	この数字は現在の庁舎勤務の人数を載せているため単純に比較をすると少なく感じる。平成27年では、水道局などが庁内勤務となる想定をしている。
委員	総数で何人と表記した方がよい。誰でもわかる内容にした方がよい。
会長	このままでは誤解を招くかもしれない。
事務局	総数でも表記し、比較を統一したい。
委員	7つの候補地があり、その選定基準はどういうものがあつたのかなど、その点わかりやすくしてほしい。
事務局	追加したい。
委員	この基本構想は一般の方に配布するのか？
事務局	今回は答申の後、広報に概要を入れ、ホームページにもアップする。基本構想については各総合窓口に閲覧用の配布を予定。
委員	概要は広報紙に入れるのか？それとも別冊となるのか？
事務局	見開き程度のスペースで広報紙面とする。
委員	答申されて、その後の流れについて教えてほしい。

事務局	基本構想（案）で市長に答申。市の庁舎建設委員会にて基本構想策定。基本構想は概算的なものなので、その後詳細について基本計画，基本設計，実施設計で詰め，建設工事という流れとなる。
委員	時期について教えてほしい。
事務局	基本計画が平成20年度，基本設計が平成20年度中頃～，実施設計が平成21年度，建設工事が平成22，23年度となる。
委員	この流れで順調にいくと，庁舎の利用は平成24年か25年となるのか？
事務局	平成24年5月ぐらいになる。
委員	コストを抑えたものにしたいとしていたが，先日シドニーのオペラハウスを紹介するテレビ番組を見て，当初は人に見られることを考えてもいなかったが，今は何百万人もの観光客が建物を見るために来ていて思わぬ結果だったと言っていた。デザインについても公募するということも考えた。
事務局	デザインの公募については基本構想では考えてはいない。基本計画くらいで出ると思うが，庁舎建設委員会に諮ることになる。
委員	できるだけ案を募って，その中で一番良いものを案にしたい。
会長	このような意見が出たということはできるだけ入れてもらいたい。
事務局	デザインコンセプトについては，新庁舎の具体像の中で触れている。
会長	基本構想では方向性的な表現に留まるが，将来的には活かしてほしい。
委員	審議会を振り返ると，第3回の建設位置の選定が佳境だったと思う。あれもこれも欲しいではきりが無く，あれかこれかの選択となる。庁舎建設の情報については広報紙に載せるとして，如何に市民に伝えるかは事務局にお任せしたい。
委員	新庁舎建設で50億円あまりの支出となる。今後，小中学校の統廃合で100～120億円の財政負担が強いられることが予想される。合計で170億円というのは市として大丈夫なのか？
事務局	合併して10年は合併特例債の対象となる。庁舎建設はこれに該当し，統廃合については今後7年間の中でやっていきたい。こうした事業については特例期間内でやらなければならない。
委員	公債費負担率についてだが，今は8～10%程度だが，事業があれば20%くらいになるのではないかと？今は事業をしていないから低い。
事務局	今後の起債や庁舎建設も想定して計算しており，ピークは平成29年となるが15%を超えないものと推計している。
委員	18%で危険という話も聞く。15%以下であればよい。
委員	西高跡地について，県には打診はしているのか？

事務局	何回か県と話している。県は建設地として決定しないうちには回答できないという姿勢であり、決定の際は稲敷の状況を考慮して最大限考えるとしている。
委員	買い取りしか方法は無いのか？
事務局	県有地についての考え方は、まずは県で利用できるか、次に市町村への払い下げ、最終的には民間への払い下げという順となっている。
事務局	今後の予定だが、今回は市長への答申となる。答申の方法として、会長と副会長に代表して市長に答申することを考えている。その際は委任ということになるがよいか？
一同	異議無し。
【閉会】	